

授業改善書

科目名	日本文学入門
担当者	掛野剛史

授業の概要

日本文学の入門的授業として日本の近代文学を取り上げ、それを鑑賞、分析することで、多様な「文学」の世界を知り、それを分析する方法や意味を学ぶ。

前半は、具体的な文学作品を取り上げて、「読む」とはどのようなことなのか、読むことによって作品世界とそれを読む自分の世界がどのように広がるのかを考えてもらえるように講義する。

後半は、文学作品と映像作品を比較考察することで、「文学」の特性やその可能性を学べるように講義する。

講義形式だが、授業内では多くの課題を解いてもらうことになる。

以上シラバスより引用。

授業の問題点

数年ぶりに担当した科目である。全学共通科目であるということを考慮しつつも、日本文学を学ぶ上での導入になるよう専門性も意識した。グループ分けとなったため、授業内容を録画したものを提供、課題提出など、teamsの機能を最大限に使用し、授業内容の量と質の維持に努めた。

履修者 97 名、回答者 48 名 () 内は平均

I 授業内容について

- ・授業内容に興味や関心を持ちましたか→4.69 (4.39)
- ・シラバスに提示されていた内容、進捗と一致していましたか→4.65 (4.34)
- ・テキストなどの資料は適切でしたか→4.81 (4.40)

II 授業方法について

- ・授業の方法や資料はわかりやすかったですか→4.69 (4.35)
- ・毎回の授業でテーマは明確に示されましたか→4.77 (4.43)
- ・毎回の授業は適切な内容や量でしたか→4.81 (4.32)
- ・学生からの質問などにきちんと対応しましたか→4.69 (4.36)
- ・授業を円滑に進めるための配慮はなされていましたか→4.71 (4.33)

以上の結果から、内容、方法について高い評価を受けているものと判断できる。

学生の授業満足度

授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか→4.79 (4.41)

全体的に振り返って、授業に満足できましたか→4.73 (4.31)

満足度は高い。また独自に実施した遠隔授業についてのアンケートでも評価は高かった。

授業改善の課題と方策

ソフト面での課題は現在のところない。

その他

特になし。